

歯科医院向けスーパーデジタルノート



MetaMoji
Dental eNote

 MetaMoji

■設立

2009年12月1日

■役員

代表取締役社長 浮川 和宣（元 株式会社ジャストシステム社長）

代表取締役専務 浮川 初子（元 株式会社ジャストシステム専務）

他 3 名

■事業所一覧

本社：東京都港区六本木

大阪営業所・福岡営業所・開発拠点として徳島

■事業内容

ソフトウェアの開発・販売

「紙のサブカルテ」の悩み（不便さ・不自由さ）

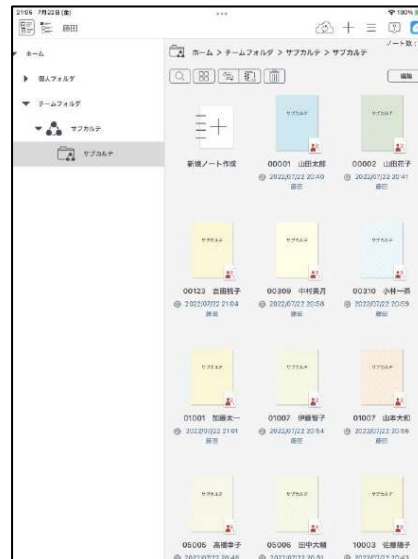
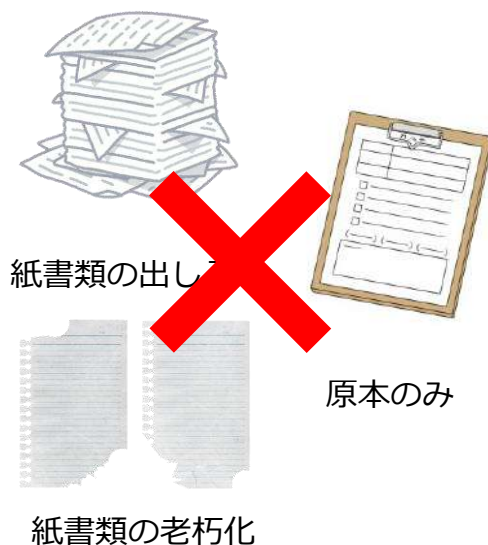
- ・ 場所：保管する場所がなく、拡張もできない
：水害によつての汚損や閲覧ができなくなる
- ・ 業務：出し入れ・探す手間に多くの業務時間を費やしている
：他の人が見ているときは見られない
- ・ 品質：紛失、劣化、破損で業務が滞る
：書いた人しか分からない

など

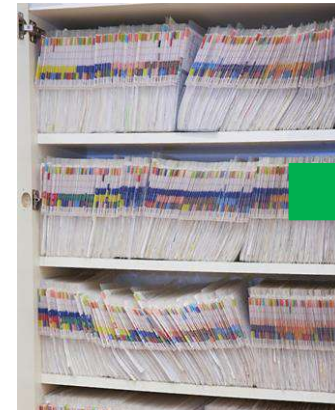
電子化により

- ・ 収納棚が不要に、あるいは、機器や薬などの在庫棚として利用可能
- ・ 患者番号・名前などで検索・整理が可能
- ・ デジタルデータのため、紛失・劣化・破損なし

- 紙書類の出し入れが不要
- 検索・整理が可能
- カルテ庫が不要に



ノート一覧画面



電子化前



電子化後

+ 「Dental eNote」で解決できることは

紙とペンと同じ感覚で自由に手書きができるデジタルノート

①見たい時に見れる・書きたい時に書ける

(悩み：原本が1つしかないため、見たい時に見えない)

同時に、同じサブカルテを開くことができるため、
他の人が利用している・していないに関わらず、閲覧・記入が可能

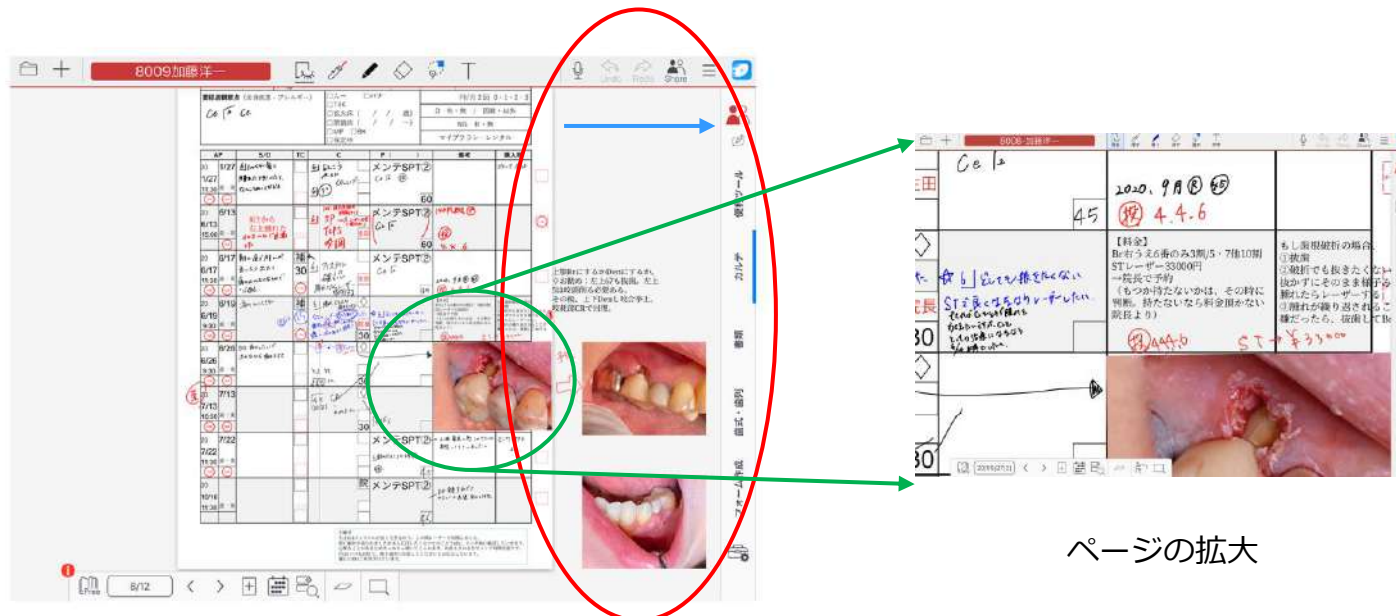


受付で、サブカルテを開いていても、
チェアサイド・各ルームからも
同じサブカルテの利用が可能

一般的なノートアプリでは、誰かが利用
していると、他の人は利用することがで
きないため、デジタル化のメリットが生
かし切れない

②紙ではできないデジタルノートの柔軟性 (悩み：文字しか書けない)

ページ外に手書きができるため、診療内容・情報が分断されない
最大2,500倍の拡大、細かい文字も確認でき、拡大しても劣化しない
手書き、テキスト文字、写真、音声、動画を1つのノートで管理が可能

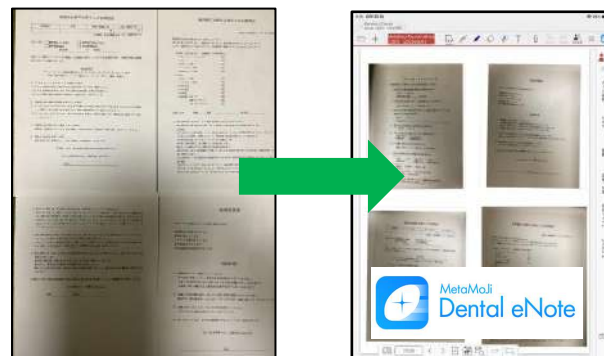


ページの拡大

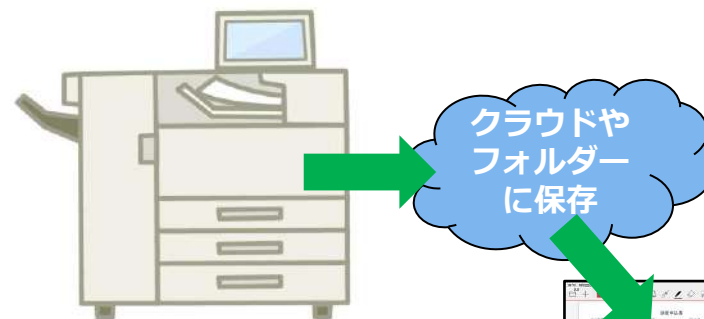
ページ外での手書き

③紙のサブカルテの取り込み（悩み：電子化に手間がかかる）

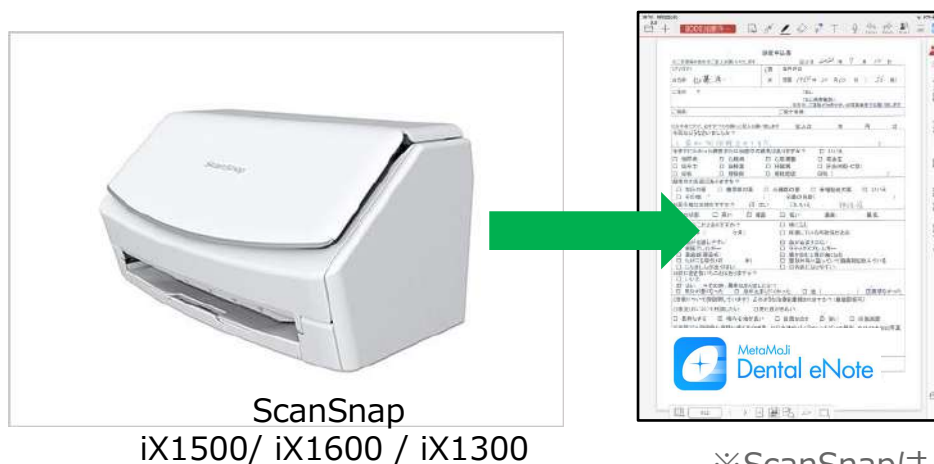
●カメラでの取り込み



●複合機のスキャン機能でPDF化し取り込み



●ScanSnapとの連携による**直接**の取り込み（iOSの場合）



※ScanSnapは、株式会社PFUの日本における登録商標です。

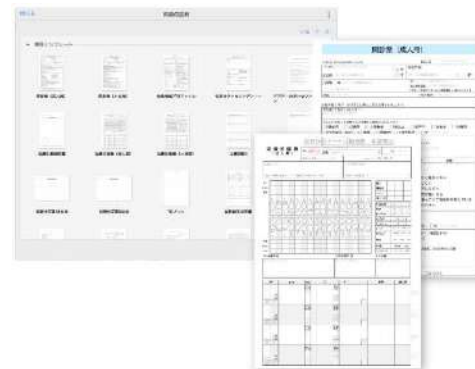
④手書きの良さ・書き心地をそのままに (悩み：自分の文字・筆跡でない違和感)

自分の筆跡がそのまま、タブレットに反映



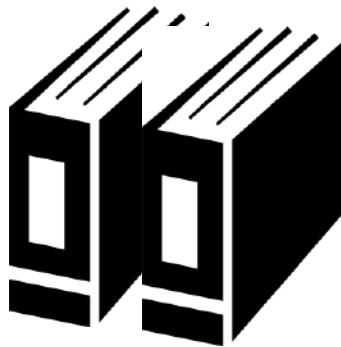
⑤サブカルテの書式がそのまま使える

紙の問診票・記録表・同意書などのサブカルテをPDF
ファイルとして取り込み可能
使い慣れた今までの書式（フォーマット）が引き続き
利用可能



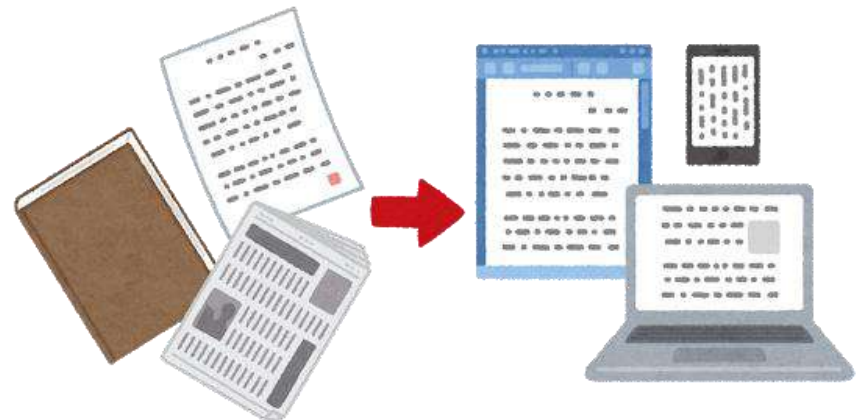
導入前の業務フロー

- ① <受付> 来院患者のサブカルテフォルダーからサブカルテを**取り出す**
- ② <受付> 受付で記入するサブカルテを**印刷**
- ③ <チェアサイド> チェアサイドでスタッフが**紙のサブカルテ**に**ペン**で記入
- ④ <受付> 紙のサブカルテをサブカルテフォルダーに**収納**



導入後の業務フロー

- ① <チェアサイド> 患者番号（カルテ番号）でサブカルテを**検索**
- ② <チェアサイド> サブカルテ（テンプレート）を**ページ追加**
- ③ <チェアサイド> **タブレット**（iPad）上で**Apple Pencil**で手書き
- ④ **収納は不要**



■ 日々の診療：用紙テンプレート

用途：よく使う書式・フォームを用紙テンプレートとして登録し、治療内容に合致する用紙テンプレートを必要に応じて呼び出してページ追加

例）問診票、カウンセリングシート、治療記録、同意書など

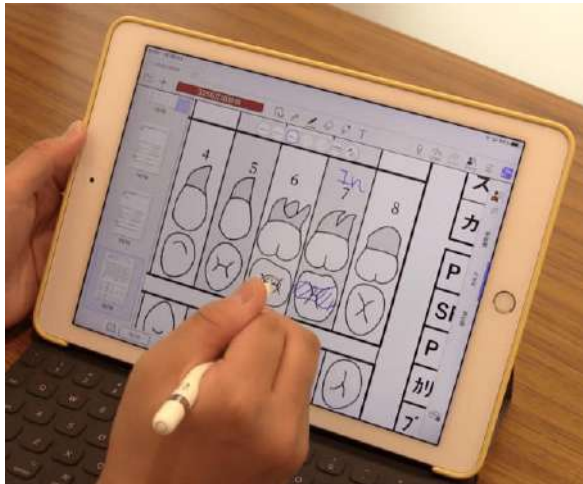
■ 初診時、既存患者の移行時：（シェア）ノートテンプレート

用途：よく使う用紙テンプレートをまとめてシェアノートテンプレートとして登録し、必要に応じて呼び出してシェアノート（サブカルテ）を作成

例）初診セット

1. **スラスラ**と紙とペンと同じ感覚で**手書き**
2. 患者情報全てを**瞬時に把握・俯瞰**
3. 丁寧で、わかりやすい「**説明**」と「**合意**」
4. 医師・スタッフ**誰もがすぐに習熟**

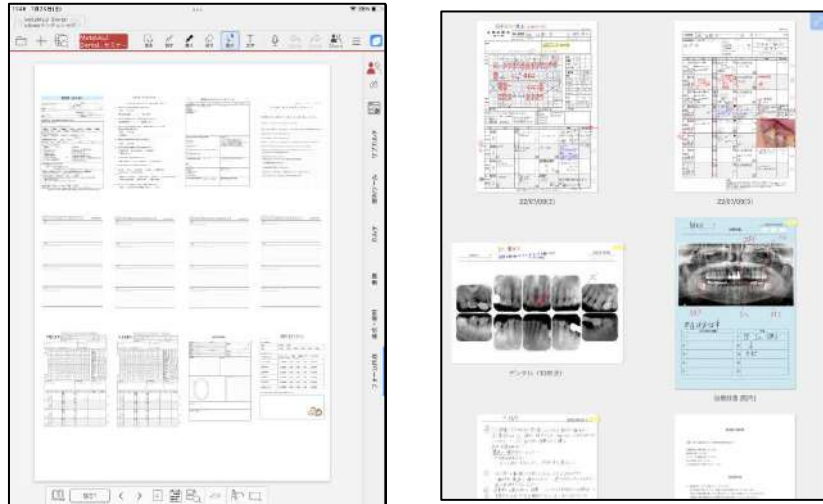
スラスラと紙とペンと同じ感覚で手書き



- サブカルテには記号などが多用され、患者と話しながら書くことも多いため、**キーボードで入力するのは現実的ではない**。手書きしやすいことが重要なポイントです
- 導入の決め手は、**紙のサブカルテそのままにデジタル化できること**
- 紙のサブカルテそのままのアナログ感を大切にしています
- iPad とペンは、普通の紙とペンと変わらない。操作はスマホができればOK

患者情報全てを瞬時に把握・俯瞰

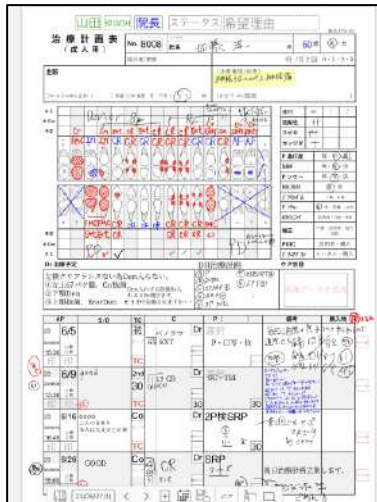
1ページ複数枚



● **A4 のカルテだとページをめくらないといけない。**1枚の大きな紙に複数ページが張り付いているようなカルテにした

● 保険証の記録、薬や身体的な特長、血圧など必ず残しておく必要のある項目は、大きな紙のどのあたりにあるかはわかっているので、そこを拡大して見られる

● **ページを切り替える手間さえ省きたい。**1枚のページに全ての情報を記入して、何日分かが貼り付いている中から必要な部分を拡大して使えるのでとても便利



1ページ1枚

丁寧で、わかりやすい「説明」と「合意」

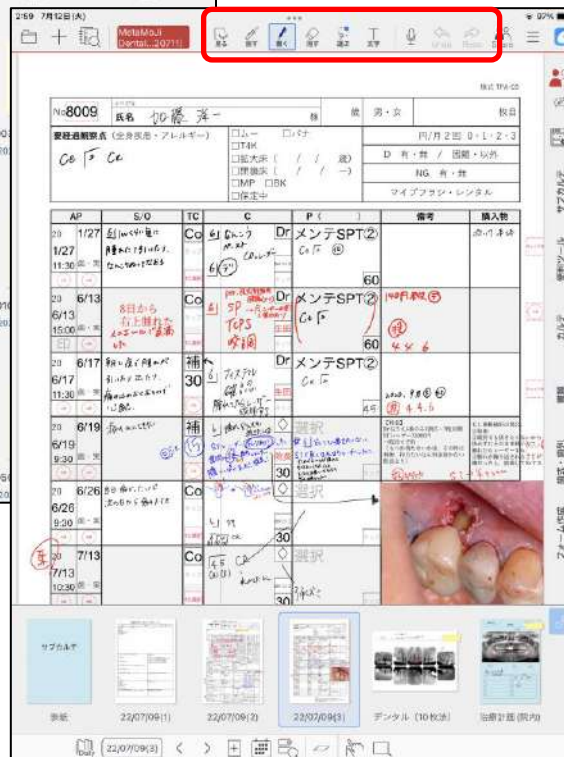


医師・スタッフ誰もがすぐに習熟



ノート一覧画面

ノート編集画面



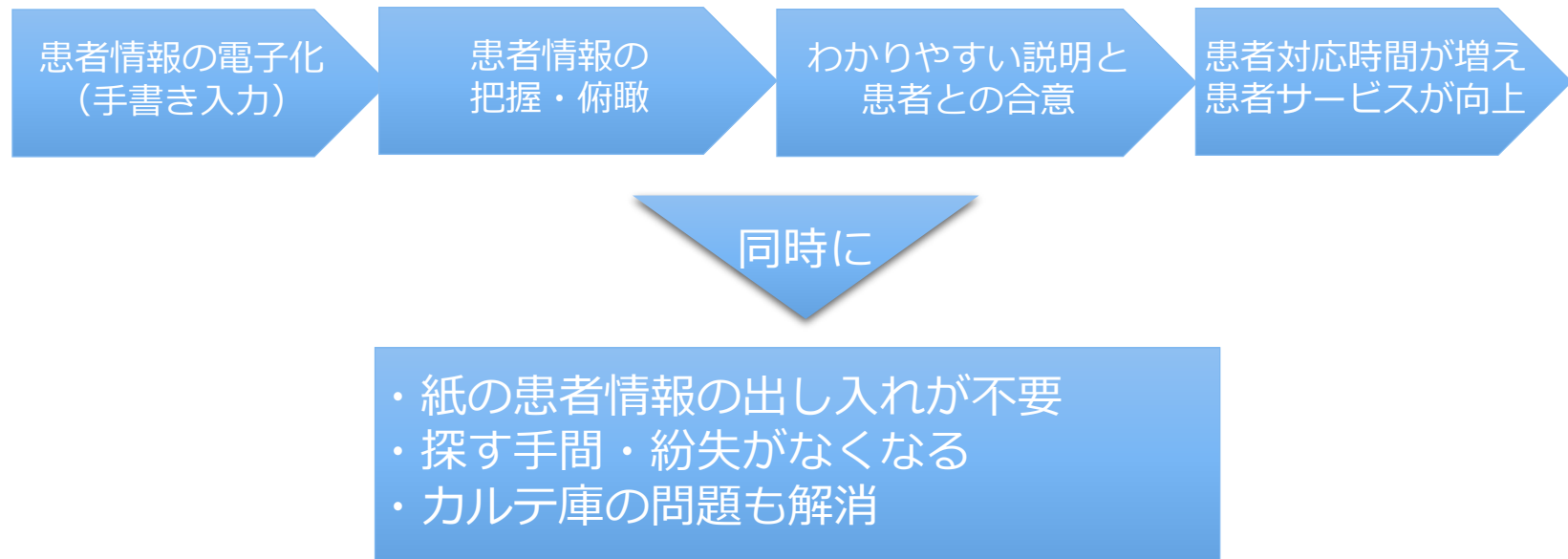
● 限りなく紙のカルテと同じものが欲しいと考えていた。紙と同じであれば、スタッフも受け入れられるだろうと考えていたからだ

● 導入して操作に慣れるようになるまで **2週間** くらい。徐々に使う機能が増えていき、**1ヶ月** ほどでスタッフ全てが習熟。使い方で困っている人はいない

● デジタル機器が苦手な人は1~2名いたが、院内全体が慣れるまでに **1ヶ月** かからなかった感じ。今はもう大丈夫

今までの「手書き」感覚そのままに

患者情報の電子化と患者サービス向上を実現

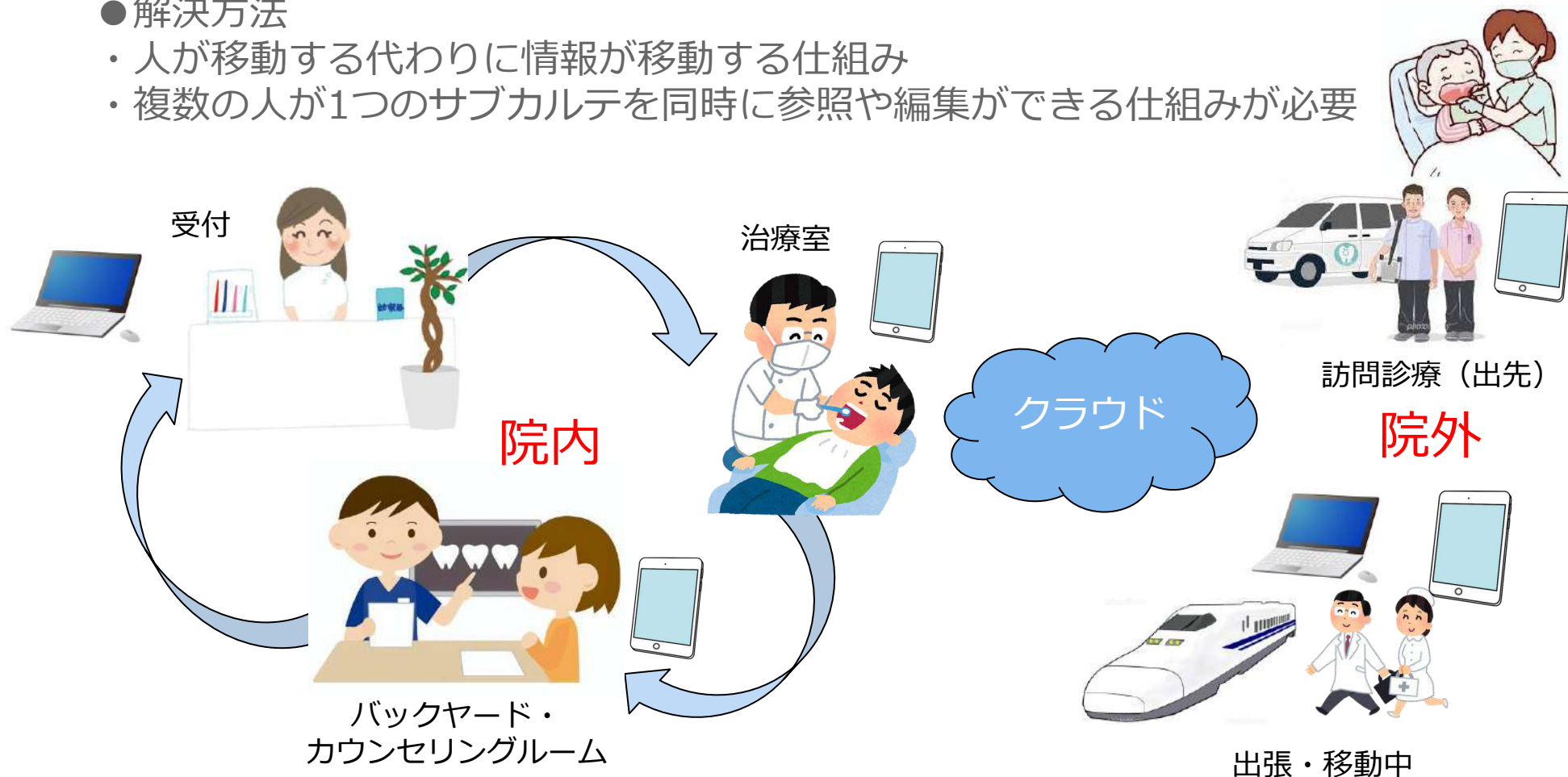


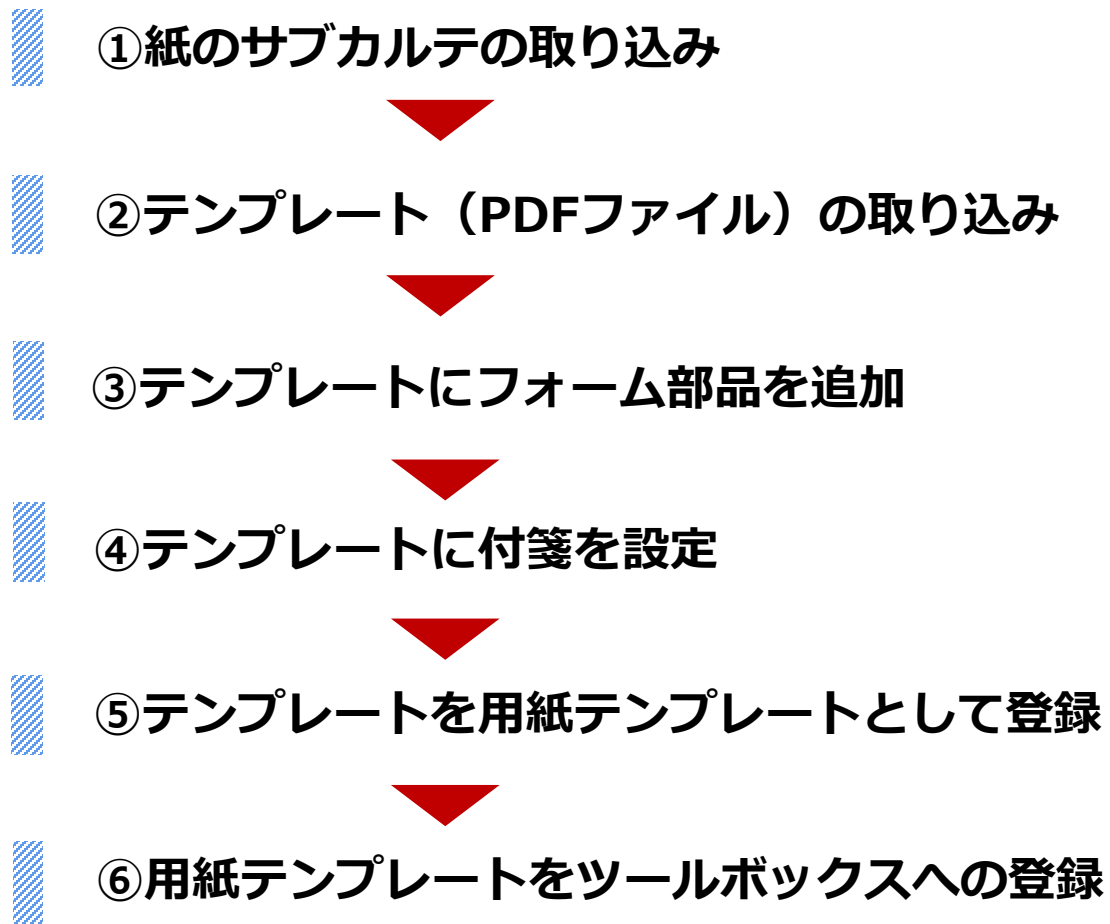
●現状

- ・ Dr、DH、TC、スタッフは治療室、バックヤード、受付を行き来しながら情報の伝達・相談をしています。コロナ禍の中、対面での会話は避けたいはず。

●解決方法

- ・ 人が移動する代わりに情報が移動する仕組み
- ・ 複数の人が1つのサブカルテを同時に参照や編集ができる仕組みが必要





詳細は、活用ガイドを参照ください。

https://product.metamoji.com/manual/dentalenote/document/dentalenote_import_guide.pdf

「いつか」を「今」にさせたDental eNote サブカルテのペーパーレス化で得た時間ロス削減・患者サービス向上、さらにデータ資産の活用へ



成功の鉄則は成功事例を取り入れること

カルテの出し入れはいくつもの時間のロスが生じる作業であるため、いつかカルテの電子化に取り組まなくてはいけないと考えていたが、**具体的なやり方がわからずにいた**

時間のロスを極限まで削減

これまで**カルテの出し入れにかかっていた時間がゼロ**になり、電話対応や患者対応に充てることができるようになった。患者と医師の橋渡しの役割を持つTC、これまで以上に患者さんの話の聞き取りに時間を割けるようになり、**患者サービスが向上**



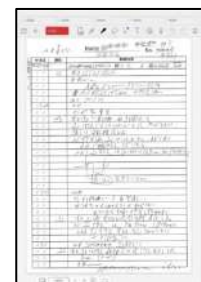
▲導入前



▲導入後

美しく読みやすいカルテに

「歯科医が書いた内容を確認するのも、衛生士や助手は毎度のことで聞きにくく**類推して判断することも多かった**。「Dental eNote」導入以後、テキストに変換することにし、**カルテが美しく読みやすくなった**



▲手書き文字



▲テキスト文字

デジタル化はデータ資産活用した治療に繋がる基盤

デジタル化そのものが目的ではない。今度は蓄積データを活かすフェーズが始まろうとしている。デジタル化はデータ資産を治療に生かすための基盤である

紙のサブカルテそのままのデジタル化で混乱なく導入
専任必要だったカルテの取り出しが手元のiPadから一瞬で。

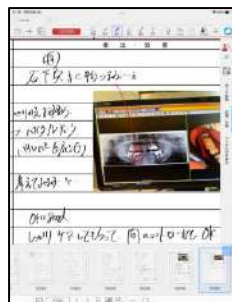


求めていたのは 紙のサブカルテそのままのデジタル化

限りなく紙のカルテと同じものが欲しいと考えていた。それは、「紙と同じだよ」であれば、スタッフも受け入れられるだろうと考えていたからだ。

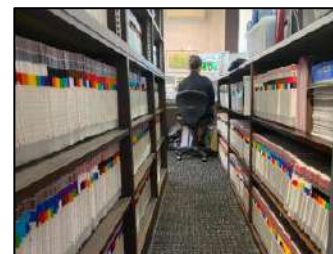
紙の感覚のまま、デジタルで素早く便利に

サブカルテは「紙のカルテそのままのアナログ感」を大切にしています。ApplePencilでまさしく紙とペンそのままの感覚で使用しています。



電話が鳴るとカルテ棚に走っていた

予約や問い合わせが入るとカルテを取りに走る必要があり、受付スタッフのうち1名はカルテの出し入れ専従とならざるを得ない状態だった。今では患者さんの名前がわかれば、患者番号で誰でもすぐに、その場から移動することなくiPad上に取り出すことができるようになった



スタッフの成長にもデジタルの力を活用

問診や患者への説明の様子を録音してカルテに貼り付け。医師・技術者の成長においてカウンセリング技術を磨くことが大切。院長のやりとりを聞いて、それを吸収して欲しいと、患者にどのように問診しているか・説明しているか、経験の浅いスタッフがリアルなやりとりを聞いて問診の仕方・コミュニケーションの仕方を学ぶためのデータを蓄積している

コロナ禍の1年をクリニックIT化の1年に 計画以上に進むカルテの
ペーパーレス化 成功の決め手は、カンタン、リーダー、ひとり一台。



診療開始までの流れ

①スタッフリーダーの決定

ICTを進める中でスタッフの協力が必要

②Dental eNoteへの移行準備

予約システムに入れない情報を受付システムの更新に合わせてDental eNoteに持ってくる項目を精査

③院内テンプレートの作成

日付はカレンダーから選択、担当者名はリスト化し選択、スタンプをアイテム登録し、フォーム（テンプレート）化することでカルテの記入効率は格段にアップ

④過去カルテのスキャン

日常使用しないカルテは倉庫保管ができるようになったため、院内の保管場所はカウに



1枚の大きな
カルテに



治療経過は1日
1コマを使う。



導入前



導入後

効果と今後

①習うより慣れる

慣れるまでに1ヶ月かからなかった
スマホが使えるならできるというレベル

②新しいことへの取組み姿勢が変化

LINEを受付に使うことなどを検討

ひとり一台iPadがあるので、
やりませんと言えない状況。

③他の用途も検討

マニュアルや受付の入金表とか技工物の
スケジュール管理など、今まで紙でやっ
ていたものを全てDental eNoteに移行

導入事例：医療法人瑛幸会 ひで歯科クリニック様（山口県） MetaMoJi

GEMBA Noteの業務改革がスタッフのデジタル力育成に繋がる
自らIT化発想する力で変化に積極的に



新クリニック開設に合わせカルテをデジタル化

松本院長が勤務した歯科医院は2万を超える膨大なカルテがある大規模な歯科医院で、**紙カルテの扱いに苦労**先輩の歯科医院でGEMBA Noteを運用開始した事例を聞いた際「**電子化するなら早い方がいい**」と、新クリニックの開設に合わせてGEMBA Noteでのカルテのデジタル化に踏み切りました。

GEMBA Note導入による変化はすぐに現れ、

- ・以前は翌日予約の患者様のカルテを揃えるのに**毎日30分程度**かかっていた**前日準備の作業**がなくなった
- ・導入して**操作に慣れるようになるまで2週間**くらい
- ・診察室の机の上がiPadだけになった。清潔を確保しながらカルテが書きやすい
- ・過去のカルテのスキャンは大変だったが、今ではGEMBA Noteなしでは仕事にならない



▲問診票



▲カウンセリングシート



▲貸出票



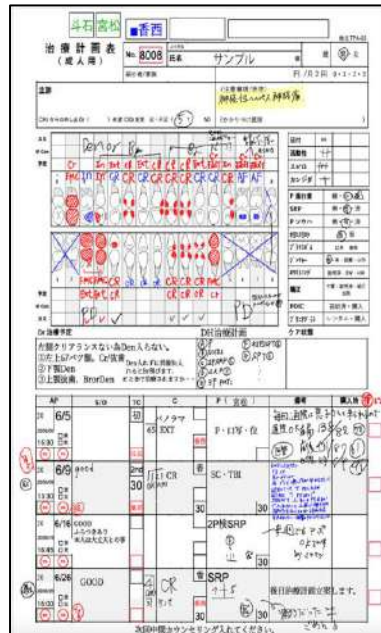
▲マニュアル

診察用テンプレート

業務用テンプレート

※Dental eNote®は、GEMBA Note for Businessを基に、歯科医師様向けに機能拡張を行った製品です。

ペーパーレス化目指しGEMBA Noteで仕事の質向上

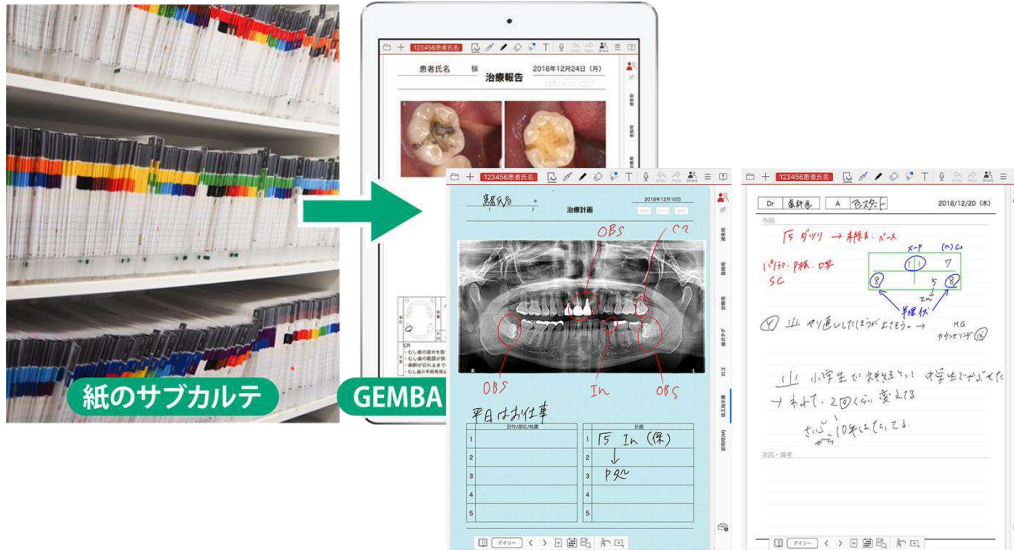


仕事の3割がサブカルテの出し入れ・ペーパーレス化は10年来の悲願

予防歯科に力を入れる伊藤歯科クリニックには長く通院する患者が多く、サブカルテが厚くなる傾向がありました。サブカルテは増えていく一方で、置き場所を分散したりしながら保管場所を確保している状態でした。

制度の整備に続き、仕事の質の向上が必要と考え業務のスリム化を目指し「受付・助手の仕事を洗い出すと、サブカルテの出し入れ、チェックなどの管理が少なくとも全体の3割を占めており、ペーパーレスを進めることは投資以上のメリットがあると確信。以前からデータベース化やシステム化に取り組んできたが何度も挫折を繰り返していた。ペーパーレス化は十年來の悲願」でした。

歯科医院で重要なサブカルテを手書きの良さを生かしてデジタル化し、業務改善や患者満足度の向上を実現



なぜiPadと GEMBA Noteを選んだか

サブカルテのデジタル化にはiPadとGEMBA Noteが最適

- ・ GEMBA Note for Business
サブカルテには記号などが多用され、患者と話しながら書くことも多いため、コンピュータのキーボードで入力するのは現実的ではありません。手書きしやすいことがまず重要なポイント

- ・ iPad
待合室で患者と話しながら記入するなど、どこへでも持ち歩いて使うことができます。治療時にサブカルテをアシスタントが医師に見せる際にも、紙が何枚も入ったフォルダから必要なものを探す手間ではなく、iPadを渡したり医師の方に向けたりするだけで済みます。

※Dental eNote®は、GEMBA Note for Businessを基に、歯科医師様向けに機能拡張を行った製品です。

①：取り込むコンテンツ・データにより様々な場面での利用可能

- ・院内打ち合わせ・会議
- ・講習会・セミナー
- ・院内研修



院内打ち合わせ・会議



講習会・セミナー



院内研修

②：複数医院（本院・分院）や（一般歯科・矯正歯科）でのサブカルテ共有

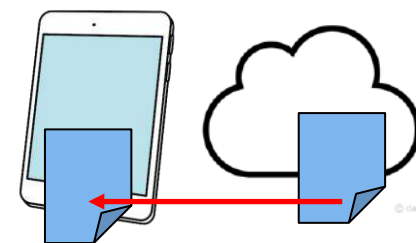
- ・予約満席、急患の場合、近くの本院・分院のスケジュールを確認
- ・新規開業、担当医師転勤に伴う患者の移動も簡単

※）1つの法人IDで複数医院のサブカルテを管理



③：オフライン環境でも利用可能

ノートを読み込むとタブレットにダウンロード（キャッシュ機能）
タブレットにノートのデータがあるため、次回以降の読み込みが高速
オフラインでもノートの読み込みが可能



タブレットにダウンロード

■ iPad・iPhone版

- ・ iOS 11.4 以降 推奨：128GB以上 64GB・32GBでも動作可能
- ※M1 Mac動作確認済み

■ Windows版

- ・ Windows 10 バージョン 1703(Creators Update)以降
- 【推奨環境】 メモリ 8 G以上

■ 申し込み

- ・ 申し込みURL
: <https://direct.metamoji.com/products/dentalenote/trial#tabs>
- ・ 期間：翌月末日まで ※) ご相談にて延長も可能
- ・ Zoomを利用した製品・操作説明

■ 購入時

- ・ 体験版の環境を本番環境として継続利用可能

MetaMoJi Dental eNote

1ライセンス

月額 3,300円（税込） 最小5ライセンスから
MetaMoJiクラウド 1ライセンス当た100GB付与

初期導入費用 不要

ボリュームディスカウント有り

例) 15ライセンスの場合の月額費用

7ライセンス × 3,300円 + 5ライセンス × 2,200円 + 3ライセンス × 1,650円 = 39,050円（税込）

ソフトウェア直販サイト「MetaMoJi Direct」での販売

支払い方法

Amazon Pay決済（Amazonアカウントの登録が必要）